

# Case Study

## 株式会社ロッテ

### 緊急事態宣言下のリモートワークでも大活躍！ デスクトップPCから Chromebook™ に 刷新し、DXが前進

1948年、チューインガムの製造販売で創業した株式会社ロッテ。「お口の恋人ロッテ」のキャッチコピーで、チョコレート、キャンディ、ビスケットなど多様なお菓子を展開しています。主力のガム事業では国内トップシェアを誇り、最近では「噛むこと」の健康効果の研究事業にも力を入れています。また環境に配慮した取り組みとして、再利用可能な容器「Loop」(テラサイクル社)を使ったガムの販売を開始する予定です。

同社では、2020年1月より Chromebook を 2600 台導入し、業務に利用しています。コロナ禍における緊急事態宣言でのリモートワークでも活用でき、通常通り業務を継続できました。

(コロナウイルスの影響により、取材はオンラインで Google Meet™ を利用)



#### 課題

- デスクトップ端末のため持ち運びができず、リモートワークができない
- 人事異動のたびに端末利用者が変わり、端末管理が難しかった
- VDI 環境での WEB 会議のビデオ映像がスムーズでない。

#### 対策

- Google Workspace と親和性の高い Chromebook を 2600 台導入
- Chromebook + VDI によって Windows 端末と併用
- 社内のネットワークを有線 LAN から無線 LAN に切り替え

#### 効果

- 緊急事態宣言下でリモートワークを実現
- Chrome 管理コンソールから端末の一元管理が可能に
- Google Workspace™ の活用とあわせて業務効率化に

#### お口の恋人

# LOTTE

## 株式会社ロッテ

東京都新宿区西新宿3-20-1



ICT戦略部 部長 緒方 久朗氏



広報部広報課 課長 似内 裕一氏

### デスクトップに有線 LAN。新しい働き方を 取り入れるには、刷新が必要だった

ICT 戦略部 部長の緒方氏は、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進する立場として Chromebook の導入を進めてきました。導入前の IT 環境には様々な課題があったと話します。

「Chromebook 導入前は、オフィスにいる社員は全員デスクトップ端末を使っていました。物理的に持ち運びができないので、リモートワークなど新しい働き方に対応できないという課題がありました。営業部門などの一部の社員はノートパソコンを使っていたものの、社内は有線 LAN だったため、社内の会議でパソコンを利用することはありませんでした。

もう一つの課題は端末管理です。人が異動すると端末の利用者が変わります。端末の利用者は PC 管理台帳で管理していましたが、ユーザー任せだと、正しく更新がされてない事がありました。

加えて、2011 年から VDI(仮想デスクトップ環境)を導入し、シンクライアント端末を利用していましたが、VDI 上での動画視聴や WEB 会議の映像は処理速度が追いつかず遅延したりスムーズに表示されないという課題もありました」(緒方氏)

## 価格、機能、セキュリティ、運用。 様々な視点から検討し、選定

ノートパソコンへの切り替えを決めるのと同時に無線LANの導入も行い、社内のどこにいても仕事ができる環境を整えました。端末の導入にあたっては、いくつかの候補の中から選定を行いました。

「他社のシンクライアント端末と比較検討をしました。価格、機能、セキュリティ、運用の煩雑さ（故障率、端末管理など）といった視点から検討した結果、Chromebook が優れているということから選定しました。既に2019年2月より使用している Google Workspace との親和性が高いことも評価しました」（緒方氏）

経営陣への提案では、導入に対する懸念の声は特になかったということです。緒方氏が日頃から、ビジネスの成長にはDXが必須と訴え続けていたこともあり、新しい働き方への期待の方が大きかったようです。

端末調達ベンダーとして電算システムを選んだ理由については、次のように話します。

「Chromebook の導入実績が豊富で、サポート体制が充実していること、費用面でも問題ないことからお願いしました。

実際、導入時の端末設定やチューニングでは、サポートがあり助かりました。VDIの関連での不具合がありましたが、一緒に検証しながら解決できました。また緊急事態宣言下で端末需要が急増する中、きちんと予定台数分を納品してもらえました」（緒方氏）

## リモートワークで大活躍。 想定以上にスムーズに浸透

導入後は、ユーザーが活用できるかということに不安がありました。

「1台の Chromebook には Chrome OS と VDIに接続するためのツールが入っています。WindowsはOffice製品や業務システムの利用があるため、必須でした。Chrome OS ができること、VDIでできることを切り分けて、導入時に丁寧に教育を行いました。

その結果、想定以上にトラブルなく、使い方に慣れてくれたと思います。緊急事態宣言でテレワークになりましたが、問題なく業務を続けられました。

たし、WEB会議の映像も遅延や途切れることなく、Google Meet で会議を行っています」（緒方氏）

ユーザーの立場から、広報部 似内氏は次のように話します。

「始めはOSの切り替えなどに戸惑いがありましたが、すぐに慣れて使いこなせるようになりました。リモートワークで、端末を自宅に持ち帰って通常通り仕事のできたので、本当に助かりました。

Chromebook と Google Workspace の相乗効果で、通常の業務も効率化できていると感じています。スケジュールの共有、チャットなどの活用で、会議招集にかかる時間などが大きく削減されましたし、Google Meet による会議も定着し、資料共有などを含めスムーズなコミュニケーションが取れてきています」（似内氏）

システム運用業務では、Chrome 管理コンソールから、端末の一括管理ができるようになり、業務負担が減りました。



## さらなるDXの推進を進めたい

今後は、Google Workspace をより活用できるように、社内教育を進めていく予定です。緒方氏は、ロッテのDX推進として、今後の展望を次のように語ります。

「DX推進のためにも、全社員のITリテラシーを高めていきたいです。BIツールの活用、RPAの導入などをすでに進めていますが、高度なデータ分析ができるデータサイエンティストの育成などは急務です。業務システムが整ったので、今後は競争優位性を出す分野に投資をしていきたいです」（緒方氏）

**DSK** 株式会社 電算システム

☎ 03-3206-1778 ☎ ci-inquiry@densan-s.co.jp

東京都中央区八丁堀 2 丁目 20 番 8 号

Chromebook についてはこちらをご覧ください

>> <https://www.dsk-cloud.com/solution/chromebook>

※ 記載内容は取材日時現在のものであり、内容については現在の状況とは異なる場合があります。

※ Google、Chrome OS、Chromebook、Google Meet、及び Google Workspace は Google LLC の商標です。